

緑化だより

No.205 令和6年6月号



チュウゴクボダイジュ

- 季節の花 (ヤマヂサ(イワタバコ))
- 水生昆虫の話
(カワムツ)
- 小さな世界こけ(チヂミバコブゴケ)
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内
- 展示会

りょくか 遊学の森

広島県緑化センター



〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2



広島県
緑化センター
二次元コード

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843 URL <https://ryokka-c.jp>

季節の花

ヤマヂサ(イワタバコ)

「山ぢさの 白露重み(しらつゆおも)み うらぶれても

心も深く 我(あ)が恋(こひ) やまず」

柿本人麻呂 万葉集 卷11—2469

これを訳しますと

「日陰で育つ“山ぢさ”はただでさえ茎が細いのに 露がかかると下向き加減に見え その姿は恋の悩みに堪えかねてうなだれているように見えます。私の気持ちも、すっかり、しよげてしまっています。でも、あの人を心から愛する気持ちは一時もやむことはありませんよ。」と自分の気持ちを可憐な花のさまに重ねて詠っています。

イワタバコはイワタバコ科イワタバコ属に分類される多年草です。古名は「山ぢさ」で別名はイワタカナ、イワヂシャ、カワヂシャなどと呼ばれています。直射日光が当たらない沢沿いの湿った岩壁などに生育しています。

本州(岩手県、秋田県以南)、四国、九州、沖縄(西表島)に自生し、台湾にも分布している日本と台湾の固有種です。

15 cm以上ある大きな葉が1~2枚、根生し垂れ下がって生えている様子がタバコの葉に似ているのでイワタバコの名前があります。6~8月に花茎を伸ばし、淡い紅紫色で星のような形をした5裂の小さな合弁花を咲かせます。冬になると、葉の付け根に根茎と来年の葉が小さな丸い塊になって新芽を保護しながら越冬し、暖かくなると急に広がる珍しい生態をしています。

関東地方から近畿地方には変種で全体に毛の多いケイワタバコ、紀伊半島には葉の長さ約10 cmの極小形で遅咲きのヒメイワタバコが見られます。

昔から若菜が食用になることから、人々は、ほろ苦い食味のある山菜として賞味してきました。古い葉は煎じて胃腸薬として利用されました。(上村)



イワタバコ

水生生物の話

カワムツ

川の生き物たちが活発に動き出し、ガサガサ遊びが楽しい季節になってきました。

緑化センターの小川をよ〜く観察してみると、銀色っぽくて細長い魚が泳いでいるのをご覧になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。また、水遊びをしていると小さな小魚が取れた経験がある方も。「わぁ〜メダカがとれた！」なんて喜んでいる子どもの声が聞こえてきたりします。でも、よく観察してみるとメダカとはちょっと違ったお顔をしています。緑化センターの小川には数種類の魚がいますが、その中でもよく見かけるのが今回ご紹介する「カワムツ」で、流れの緩やかな浅瀬に稚魚が群れているので、稚魚をすくってメダカだと勘違いされる方も多いい魚でもあります。

このカワムツ、コイ科に分類される淡水魚で2000年までは「カワムツA型、カワムツB型」と同類で2タイプいるとされていましたが、現在は「A型=ヌマムツ、B型=カワムツ」と別の種に

なりました。

広島では、「ハエ」とか「ハヤ」とか「アカモチ」とか「ヤナギバヤ」などと呼ばれているので、この名前を聞くとピンとくる方も多いのではないのでしょうか。

大きさは15センチ前後で、同じコイ科の淡水魚と似たようなサイズなので混同されやすいですが、体は銀白色で体側の中央に黒青っぽい縦帯があり、各ヒレは黄色っぽく、成熟時期になるとオスの顔には追星が現れ、背びれ、胸びれの前縁が鮮やかな橙色になるのが特徴です。オスの大きい個体だと20cm近くになる最もポピュラーで美しい淡水魚です。



カワムツ

広島県では、上流域から中下流域まで広範囲に生息しており、食性は雑食。金魚のエサを食べるので比較的飼育しやすい魚でもあります。また、川釣りの対象魚にもなっており、川魚独特の臭みはあるものの、割と肉厚なので上手にした処理をすれば天ぷらで美味しくいただくこともできます。

河川改修の影響で、平瀬が増えると河川の優先種になることがわかっており、近年広島ではオイカワに比べてカワムツが多い印象があるので、河川改修の影響を受けて増えているのかもしれない。(西村)

小さな世界 こけ

チヂミバコブゴケ

前号でヒジキゴケを紹介しましたが、同じように岩に生育するコケの一つにチヂミバコブゴケがあります。

チヂミバコブゴケはシッポゴケ科で雌雄同株。林内の日陰の岩に生育します。

緑化センターでは、樹木見本園、薬草園、ツバキ園など園路から少し外れたところの岩に見ることができ、日陰地では岩一面に着生しているところもあります。

長さ3mmほどのほそ長い葉は、乾燥すると巻き込みます。又、孢子体は斜めに立ち上がり、柄は長さ約3mm、孢子のう(蒴)は約1mmの大きさで、つけ根にのどぼとけの様なコブがあります。

これはこのコケの特徴で、学名
オンコフォルス クリスピフォリウス オンコ
*Oncophorus crispifolius*の学名 *Onc*(こぶ)
フォルス クリスピ フォリウス
phorus(持つ)、種小名 *crispi*(縮れる) *folius*
(葉)にも表れています。

成熟すると蒴歯は赤味を帯び肉眼でも確認できます。(山根)



岩に着生生育するチヂミバコブゴケ



チヂミバコブゴケの孢子体



チヂミバコブゴケ(乾燥したとき)

研修会のご案内

- | | |
|--|---|
| ○6月 1日(土) 『松の手入れ(春)』
基本を学び、屋外で実技指導を行います
※要予約(先着15名)、無料、剪定鋏・手ノコ持参 | 10:00~12:00 学習室 集合
講師:NPO法人 樹木医ひろしま
工藤 徹 |
| ○6月 2日(日) 『自由工作塾』
自然の素材で自由に工作
※ 自由参加(随時受付)、材料費1作品100円、 | 10:00~15:00 レストハウス前
講師:緑化センターボランティア
ふれあい湧 |
| ○6月 2日(日) 『森のネイチャーゲーム』
自然の中で遊びを体験します
※ 自由参加(随時受付)、無料、荒天中止 | 10:00~15:00 レストハウス前
講師:広島市
シェアリングネイチャーの会 |
| ○6月 8日(土) 『常緑樹の剪定講座』
基本を学び、屋外で実技指導を行います
※要予約(先着15名)、無料、剪定鋏・手ノコ持参 | 10:00~12:00 学習室 集合
講師:NPO法人 樹木医ひろしま
工藤 徹 |
| ○6月 16日(日) 『6月の自然探勝』
散策路を歩きながら植物を観察します
※自由参加、無料 | 10:00~12:00 学習展示館前 集合
講師:森林インストラクター
野田 圭一 |
| ○6月 20日(木) 『落葉広葉樹の見分け方』
実物の枝や葉を用いて見分け方を学びます
※自由参加、無料、ルーペ持参 | 10:00~12:00 学習室 集合
講師:森林植物研究家
埜田 宏 |
| ○6月 22日(土) 『梅雨のきのこ入門観察会』
園内を歩きながら生えているキノコの説明を聞きます
※要予約(キャンセル待ち)、無料 | 10:00~12:00 学習展示館前 集合
講師:きのこアドバイザー
川上 嘉章 |

☆ お知らせ・ご案内 ☆♪

- ・ひろしま「山の日」県民の集い 6月2日(日) 10:00~15:00
場所:レストハウス前広場
山の手入れ(一部予約),自由工作塾,森のネイチャーゲーム

◎ 展示会

場所:レストハウス
(ボード展示)

- ・第15回ひろしま遊学の森
こども写生大会作品展 6月13日(木)~7月3日(水)



幼児の部 最優秀賞